

京都の住環境を守ろう！呼び込み一辺倒の観光政策は転換を！

# 「民泊問題」市政報告会



## 世界の観光都市はホテルを規制!

現市長の就任後、際限のない宿泊施設「拡大方針」が取られた結果、ホテルは3倍、簡易宿所は14倍に激増。住環境悪化、地域コミュニティ破壊など、深刻な事態が引き起こされてきました。

バルセロナ、アムステルダム、パリ、ヴェネツィアなど、世界の観光都市では「ホテル規制」が当たり前の流れとなっています。

## 市条例の改正で、住環境を守ろう!

日本共産党京都市議団は、住民のみなさんから寄せられる声を議会で取り上げ、「住環境を守るためには、全ての宿泊施設に、管理者常駐、住宅密集地・路地奥などでの営業規制、住民との協定書義務付けなど義務付けを」と一貫して求めてきました。

京都市条例改正の展望は!? 京都市で生まれている変化や他都市の状況は!? 民泊問題の最前線を報告します!

【日時】11/29(金) 午後7時00分～8時30分

【会場】職員会館かもがわ 市バス「河原町丸太町」から徒歩約5分  
京阪電鉄「神宮丸太町駅」から徒歩約5分

主催: 日本共産党京都市会議員団 ☎222-3728 FAX211-2130

